

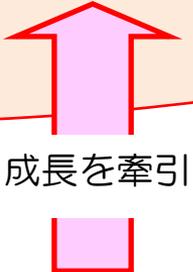
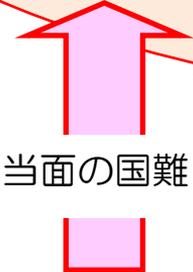
## **2. 最も大きな「複眼」として 日本の成長エンジンを目指す関西の成長戦略**

# 関経連の目指すもの～関西の“ありたき姿”の実現のために

## 2020年 関西の“ありたき姿”

**(1) 日本の双発エンジンとして  
日本をリードする**  
-首都圏とともに経済・文化・国際交流等で  
リーダーシップを発揮する-

**(2) アジア有数の  
中核都市圏 (ハブ) となる**  
-グローバルに人や企業が交流する、  
なくてはならない都市になる-



## 2014年までの中期目標

**【1】  
関西の  
リーダーシップで  
東日本大震災  
からの復旧・復興に  
貢献する**

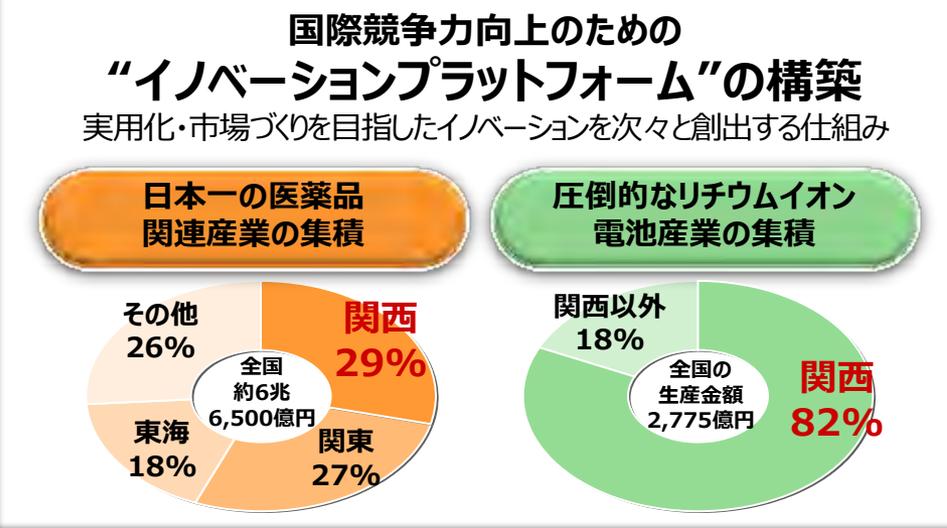
**【2】  
関西から新しい  
国づくりを推し進め、  
強靱な国家と  
自立した地域による  
発展を実現する**

**【3】  
イノベーションを  
生み出すしくみを  
構築し、関西を  
国際競争に勝ち  
抜ける地域にする**

**【4】  
関西とアジア太平洋  
地域とのWin-Winに  
つながる人・ビジネス  
のネットワークを強化  
する**

# 具体的な成長戦略①: 成長分野のイノベーション促進

○現在「関西イノベーション国際戦略総合特区」では、43プロジェクトが認定され、特区への投資総額は約630億円となっている。  
 ○企業による税制優遇措置等の活用は多く、規制緩和や制度改革についてはいくつかの要望が実現しているものの、ライフ分野の重要案件を含む項目が継続協議として残っている。



### 関西のポテンシャルをフル活用

- ▶ **世界トップクラスのリーディング企業が集積**  
 医療：塩野義製薬、田辺三菱製薬、ニプロ、シスメックス 等  
 蓄電池・太陽電池等：住友電工、シャープ、パナソニック 等
- ▶ **世界屈指の大学・研究機関、科学技術基盤が集積**  
 大学：京都大学、大阪大学、神戸大学 等  
 研究機関：医薬基盤研究所、理化学研究所 等  
 科学技術基盤：SPring-8、SACLA、スーパーコンピュータ「京」 等

## 6つのターゲットでイノベーションを創出



### 国際競争拠点の形成を目指す

#### <2025年に向けた目標>

ライフ分野	○ 世界における輸入医薬品市場シェアの拡大	関西の世界シェア 2010年：1.2%(1,890億円) → <b>2025年：2.4%(7,800億円)</b>
ライフ分野	○ 世界における輸入医療機器市場シェアの拡大	関西の世界シェア 2010年：1.0%(660億円) → <b>2025年：2.0%(2,800億円)</b>
グリーン分野	○ 関西のリチウムイオン電池の生産額	2010年：2,300億円 → <b>2025年：3兆8,500億円</b>
グリーン分野	○ 関西の太陽電池の生産額	2010年：2,500億円 → <b>2025年：1兆1,300億円</b>

# 具体的な成長戦略①: 成長分野のイノベーション促進

- 関西圏は、日本第2の経済圏であり、首都圏とは異なるポテンシャルを有しており、これらを有機的に連携させることで、魅力的な国際都市圏を形成することが可能である。
- 国家戦略特区の枠組を活用して、医療を中心とした産業活性化と、都心の機能強化及び魅力創造(まちづくり)を連携させることで、大きなシナジー効果を生み出し、日本の競争力強化に寄与する。

**医療(大阪・京都・兵庫)**

**医療イノベーションの創出・医療産業活性化**

大胆な規制改革等により既存特区事業の研究・開発から実用化、海外展開までを加速(再生医療・創薬、バイオ医薬等)

- ・再生医療技術の確立・革新的創薬の開発(IPS細胞等を活用した再生衣料・創薬、バイオ医療、中枢神経系制御薬、インシリコ創薬等)
- ・医療技術の国際医療交流と医療機器のパッケージ輸出(がん治療機器)

医療の国際イノベーションの実務を担うヘッドクォーター機能を関西に整備(日本版NIH中核機能の設置等)

関経連国家戦略特区提案書より

**まちづくり(大阪を核として関西一円に効果波及)**

**国際的ビジネス拠点の形成**

- 世界水準の都市空間を創出するリーディングプロジェクトの推進(うめきた)
- BID等エリアマネジメントによる魅力ある空間の創出(中之島)
- 民間主導による都心の機能更新を促進する仕組みの整備(御堂筋)
- グローバルビジネス環境の強化

大阪府市国家戦略特区提案書より

